

APPEAL

発行者
JR 東海労関西地本
大阪台車検査車両所分会
2012年 4月 2日
NO.4

職場でプレッシャーを感じていませんか？

大台車の他労組の組合員の皆さん！

WEDGE2 月号スペシャルレポートで『2兆7000億円ー 2008年に患者数が100万人を突破した「うつ病」によってこれだけの損失がある。「苦労が足りない」「ストレスに弱い」と見られがちで、企業も経営者も、うつ病対策はポーズだけになっている現状がある。』こう主張されています。本誌によれば自殺の原因の3割から5割はうつ病が自殺に向かわせる要因になっていることも指摘しています。またこうも語っています「景気低迷で会社が求めるのは**効率第一主義**。そのギャップに耐えられない、割り切れない人が増えている」このことによって「うつ病」が急増しているとはっきりとさせています。本誌データによれば就業者6400万人の職場のうつは、業務判断ミス・怪我・事故が原因で**400～600万人**存在しそのことは家族・同僚・管理者が気がつかないままの状況で進みやがて休職や退職に追いやられていくとなっています。

皆さん！職場ではどうでしょうか？会社は**効率第一主義**に走り社員を冷たい機械の一部として扱っていませんか。そして失敗や怪我や遅刻等々の一切の責任を社員に背負わせて「うつ病」の要因を会社自らがつくり量産していると思いませんか。いま「業研」や「QC」や「残業」が夜遅くまで日々行われ、心と体のリフレッシュを図ることが難しくなっています。ここらでいったん深呼吸をして周りの状況を見つめてみませんか？職場の先輩や同僚や後輩が精神的にプレッシャーに苦しんでいる姿が見えてきます。職場環境を変えなければ心の病は払拭できません。あなたもそのための主役になるべきです。

うつ病は1000万人は減らない！
WEDGE2月号の特別レポート

私たちは職場の声を訴えていきます！